

ネットストーカーについて

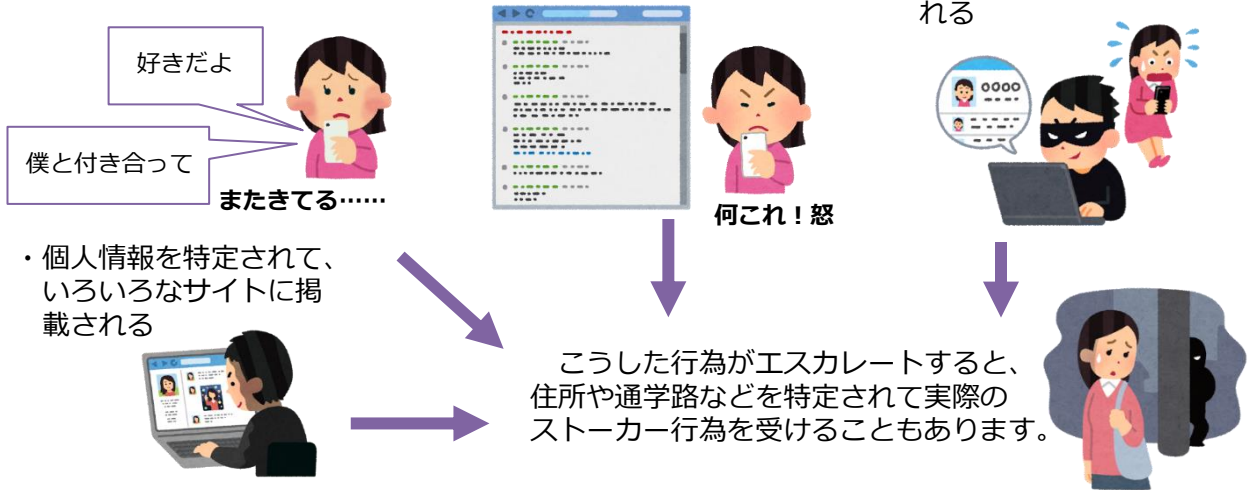
SNSなどのインターネットサービスの普及にともない、ネットストーカーによる被害が増えています。ネットストーカーとは、インターネットを使って特定の人物にしつこくつきまとい、いやがらせをする人たちのことで、**その被害はインターネット上だけにとどまらず、現実世界にまでおよんでしまうこともあります。**

みなさんと同年代の学生たちがネットストーカーの被害にあってしまうケースもあり、その実態について正しく理解しておくことが大切です。

ネットストーカーの実態

ネットストーカーによる被害の例には、以下のようなものがあります。

- ・ SNSやブログに好意をよせるコメントや交際を迫るコメントなどがしつこく送られてくる
- ・ 匿名掲示板に誹謗中傷の書き込みをされる
- ・ ID・パスワードを特定されてSNSなどのアカウントを乗っ取られ、不適切な書き込みをされる



ネットストーカーは、被害者の知り合いだけとはかぎりません。SNSの投稿をたまたま見かけた人や、インターネット上のサービスで知り合った人がネットストーカーになるケースもあります。

もし、ネットストーカーの被害にあったら

ネットストーカーに対してメッセージを送ると、行為がエスカレートするケースもあります。そのため、しつこくメッセージが送られてきても**絶対に返信せず**に、**すぐに身近な大人たちに相談**しましょう。

※警察等に相談することも考えて、ネットストーカーの書き込みをスクリーンショットで保存したり印刷したりするなどして、証拠として残しておきましょう。

インターネットを利用している人であれば、誰でもネットストーカーの被害にあう可能性があります。そのことを頭に入れて、自分や友だちの個人情報につながるものは、絶対にインターネットに投稿しないようにしましょう。